

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 397番
- *交読文 19番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 340番
- 聖餐式 賛美281番
- メッセージ 要塞をも打ち破る力を得るには(2コリント 10:1-8)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 390番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎 韓日聖歌(1冊3000円)を購入されたい方はお知らせ下さい。
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「神は、_____の内に住ませた霊を、ねたむほどに愛しておられる」と聖書に書いてあるのは、むなしい言葉だと思ふのか。しかし神は、いや増しに恵みを賜う。であるから、「神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜う」とある。そういうわけだから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ちむかいなさい。そうすれば、彼は_____から逃げ去るであろう。神に近づきなさい。そうすれば、神は_____に近づいて下さるであろう。罪人どもよ、手をきよめよ。二心の者どもよ、心を清くせよ。・・・主のみまえにへりくだれ。そうすれば、主は、_____を高くして下さるであろう。(ヤコブ 4:5-10)

2コリント10章以降は、コリントにいるパウロの反対者達への、パウロの勧めである。彼はその書き出しを、「**キリストの優しさ、寛大さ**をもって」勧めている。反対者達は、「面と向かってはおとなしいが、離れていると、気が強くなる」とパウロを評しているが、反対者の視点から見るこのパウロのあり方から、逆に、キリスト者のあるべき姿を学ぶ事が出来る。パウロは事実、聖徒と面と向かっている時は、「**優しさ**」と「**寛大さ**」をもって接していたのだ。「**優しさ**」と「**寛大さ**」は一見弱々しく見えるため、力強さや雄弁さに頼みとする反対者を強気にさせたのだが、**御言葉の真理を語る時は、語調は柔和に、そして真理はそのまま語るべきだ**。『**主の僕たる者は争つてはならない。だれに対しても親切であつて、よく教え、よく忍び、反対する者を柔和な心で教え導くべきである。おそらく神は、彼らに悔改めの心を与えて、真理を知らせ、一度は悪魔に捕えられてその欲するままになつていても、目ざめて彼のわなからのがれさせて下さるであろう。**』(2テモテ 2:24-26)

肉的な力を頼みとするパウロの反対者は、違ったイエスや異なった福音を伝えており(2コリント 11:4)、しかも、コリントの聖徒達の顔を叩いたり、威張ったり、奴隷にしたりと、威圧的だった。(2コリント 11:20) 肉に頼る者達は、威圧的・暴力的になる事によって、人を支配しがちである。そのために彼らは、イエス様の有様を別様に変えてしまつたり、福音をねじ曲げてしまう事さえするが、私たちの戦いの武器は、肉的な力でも、威圧でも、暴力でもない。『**わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。**』(2コリント 10:4) 私たちの武具は、エペソ 6章にある霊的武器であり、そして唯一の攻撃の武器は、**御言葉の剣**である。

パウロの手紙は確かに重々しい。「主イエスの権能をもってサタンに引き渡す」(1コリント 5:4)とか「私たちは御使いをも裁くべき者だ、ならばこの世の事は言うまでもない」(1コリント 6:3)とか、実に重々しく見える。しかしパウロは、自分の手紙をおごそかにするために、**装飾として「イエスの権能をもってサタンに引き渡す」「私たちは御使いをも裁くべき者」**などと言っているのではない。**真実そのままを語っているだけ**なのだ。御言葉は、そのままでは、実に突拍子もない事、あり得ない事のように聞こえるものもあるが、私達は、**人に何と評価されようとも、御言葉はそのまま語るべき**なのだ。御言葉を、信仰を混ぜてそのまま語る事は、大きな力である。ある人の御言葉の宣言は権威があつて、天候も、世界情勢さえも動くのに、ある人の宣言には権威が無く、物事が全く動かない。それは一体、どういふ事から来るのだろうか。それは、続く節にヒントがある。

『わたしたちは「**理屈(イマジネーション)**」を打ち破り、**神の知識に逆らう**あらゆる「**高慢**」を打ち倒し、あらゆる「**思惑(考え)**」を「**とりに(捕縛)**」してキリストに従わせ、また、あなたがたの従順が完全なものになるとき、すべての不従順を罰する用意ができています。』(同 4-6) すなわち、**御言葉の剣を、要塞をも打ち破るほどに研ぎ澄ますには、まず、自分自身の身勝手な理屈(イマジネーション)を、自ら打ち破り、神の知識に逆らう「高慢」を打ち砕く、という「下準備」が必須**である。次に、**全ての「思い(考え)」を捕えて、キリストへと連行させる**のだ。そうして、キリストに対する「**その従順(女性形単数)**」が**完全になる時、あらゆる不従順を罰する用意ができ、その力は要塞をも打ち破る**のだ。

結局のところ、**自分の理屈や思惑、考えは一切降ろし、それらをキリストへと連行し、御言葉なるキリストに従順し服従しなければ、この偉大な武器に、効力を持たせる事はできない**。もし私達が、御言葉の内容を知り、それに服従し、行動するなら、その時こそ、私達は力と権威を帯び、あらゆる敵を打ち破るのである。そして、この武具の使用目的は、**人を倒すためでない。人を建て上げるため**である。(同 8節) 全ての高ぶりを取り除き、あらゆる思惑をキリストに服従させ、そうして与えられたこの霊的武器を、神に逆らうあらゆる敵に行使し、そして、兄弟姉妹は建て上げる皆さんでありますように！ イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト